

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒101-8228
 住 所 東京都千代田区神田猿楽町2-8-8
 氏 名 大林道路株式会社
 代表取締役社長 黒 川 修 治 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	大林道路株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区小島町8番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	17	石油製品・石炭製品製造業
主たる事業 の内容	アスファルト混合物の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,396	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

1. 全体の基本方針

- (1) エネルギーの低減に有効な設備投資計画を策定し実行する。
- (2) 製造工程を日々監視し、エネルギー削減に努める。
- (3) 消灯を励行するとともに冷暖房温度の目標値を設定し、不要な電力の削減に努める。

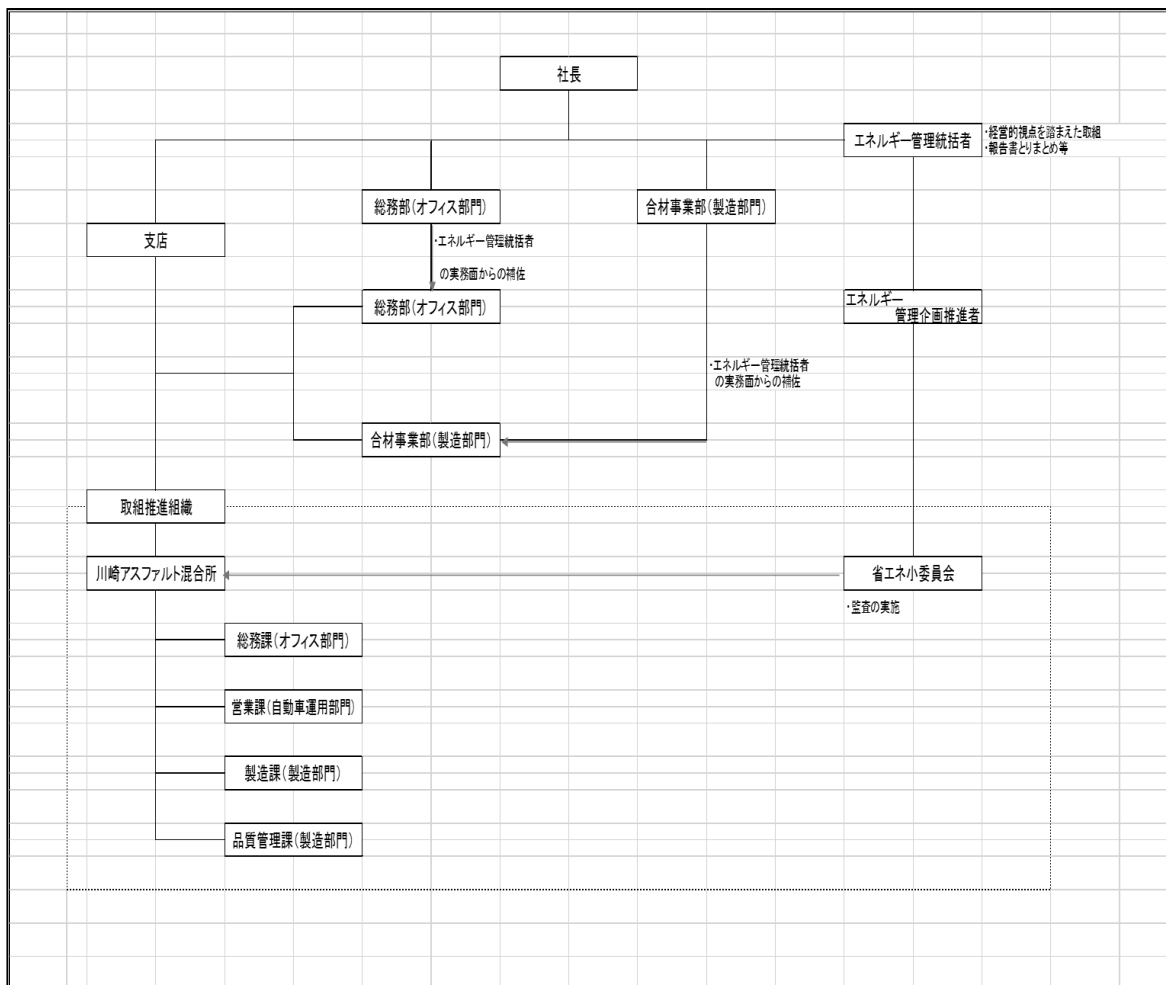
2. 市内事業所の基本方針

事業所全体の基本方針に基づき、計画期間に指針様式第 1 号（第 3 面）に記載の「設置の内容」を確実に実施する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C A サイクル）を行うための方針

環境管理計画書に基づき、省エネ及び排出量削減の目標設定を行い、地球温暖化対策に係る推進体制の整備、対策責任者の任命、委員会の設立・開催、従業員に対する勉強会の開催等を確実に実施することにより、P D C A サイクルを実行・管理する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基 準 年 度		2021 年度	
目 標 年 度		2024 年度	
基 準 排 出 量	(実)	4,492	(実)
	(調)	4,285 t-CO ₂	(調)
目 標 排 出 量	(実)	4,454	(実)
	(調)	3,622 t-CO ₂	(調)
削 減 量	(実)	38 t-CO ₂	(実)
内 訳	対策実施による削減量	(実)	38 t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂
削 減 率	(実)	0.8 %	(実)
			%

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原 単 位 等 の 活 動 量			
原 単 位 の 単 位			
基 準 年 度 の 値			
目 標 年 度 の 値			
削 減 率		%	%

ウ 目標設定に関する説明

温室効果ガスの削減を図るため、さらなる従業員の省エネの取り組み活動（ヒーター等の運転方法改善）によりPDCAサイクルを適切に運用する。
 更に、カーボンニュートラル都市ガス及びFIT非化石電力の購入、フォームドアスファルトマシンの設置等により大幅な削減する目標を設定した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。)

計 画	1. 環境管理計画を策定し、P D C A サイクルを適切に運用する。 2. ヒーターの温度調整、使用時以外切る等不要電力の削減に努める。 3. 毎月第二週目土日連続閉所の実施により、温室効果ガスの削減に努める。 4. 工場使用電力については、第 1 年度 7 月を目途に FIT 非化石証書付電力の購入に切り替える。 5. 工場使用都市ガスについては、第 2 年度中にはカーボンニュートラルガスの購入に切り替えたい。 6. 工場内使用重機軽油は代替軽油 GTL を使用する。CO2 排出量 8.5% 減が見込まれる。 7. 中温化合物出荷に対応するために、FAM を設置する。合材出荷時の温度低減及びアスファルト量削減により CO2 排出抑制に繋げる。
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()	×	
その他()	×	

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	×
EV、PHV、FCV	×	その他()	×

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<p>1. 自動車の新規購入・更新にあたっては、ハイブリッド自動車などの低燃費車両を原則とする。</p> <p>2. エコドライブを実践するため、簡易マニュアル等を配布するなど、従業員に対するエコドライブ教育を継続する。</p>
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	4,492	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

2,396	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
川崎アスファルト混合所	川崎市川崎区小島町8番2号	4,492 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂